

富士見駅前の観光案内所を移転する考えは

観光戦略構築は町の課題

観光協会と共に検討していきます



五味 滋 議員

質問：富士見駅前の観光案内所を移転する考えは。

答弁：観光協会の業務内容の見直しと合わせて検討する必要があると思います。観光戦略構築は町の課題ですので、観光協会と共に検討していきます。

質問：八ヶ岳地区鉢巻道路の植栽の評価と今後の進め方は。

答弁：地元財産区との協働により、4年間で計画範囲の植栽は完了しました。関係集落住民が自ら景観を創っていくことや、沿道が明るくなり見晴ら

しが確保できるようなったことなど、高い評価を受けていると思っております。今後は、隣接する棒道、創造の森周辺観光施設など、観光資源が一体的なエリアとして連携できるよう取り組みたいと考えています。

□その他の質問

* 保科正之 NHK 大河ドラマ化」応援について
* 法華道の調査について



入笠山「花の百名山」復活を目指して町民の皆様にご協力をいただき進められている植栽ボランティア

パノラマリゾート支援再建

計画変更の必要性は

これからを見据えて見直しが必要と考える



小林 市子 議員

質問：5年間の支援が終わる平成22年度からの累積損失を減らす具体的な収益対策は。

答弁：施設の安全確保のための投資や現在進めている山頂の公園化、ゲレンデを利用した新たな魅力作りなどです。

質問：パノラマリゾート存続の再生ビジョンと経営改善の透明性の確保は。

答弁：再生計画の基本は今後も営業を続けること。借金は町と開発公社で返済します。町と町民にとって一番負担の少ない方策をとっていきます。町民懇談会や広報を通じて経営改善の透明性を図っていることをご理解いただきたいと思えます。

□その他の質問

* 耐震改修促進計画の進捗状況

* 町観光大使育成・観光戦略事業について

質問：支援再建計画「5年」の検証と計画変更の必要性は。

答弁：平成17年度からはじまった支援計画は順調に進み、48億5千万円あった借金が4年目の今年3月末で35億3千万円に減りました。

生き残りをかけて、計画見直しは必要と考えています。